

千葉市長 神 谷 俊 一 様

令和 4 年度千葉市入札適正化・苦情検討委員会の審議について

千葉市入札適正化・苦情検討委員会は、令和 4 年度において定例会議を 3 回開催し、千葉市の発注した工事について、入札及び契約に係る事務における公平性の確保並びに客観性及び透明性の向上を図るための審議を行ったので、下記のとおり結果を報告する。

記

1 審議対象

千葉市が発注した工事に関し、入札・契約手続の運用状況及び入札・契約制度の改善状況等の報告を受け、一般競争入札の入札参加資格設定理由、指名競争入札の指名理由及び随意契約の相手方の選定理由等について審議した。

2 審議経過及び審議結果

令和 4 年度中に本委員会を次のとおり開催し、千葉市から入札及び契約手続の運用状況等や抽出案件の説明を受け、慎重に審議を行った結果、入札及び契約に係る事務は適正に処理されていることが認められた。

令和 4 年	8 月 2 4 日	第 1 回委員会	審議案件	8 件
令和 4 年	1 1 月 2 1 日	第 2 回委員会	審議案件	8 件
令和 5 年	2 月 6 日	第 3 回委員会	審議案件	6 件

3 意見

本委員会は、令和 4 年度発注案件の中から各委員が抽出した案件 2 2 件について審議を行い、入札及び契約事務が適正に処理されていることを承認した。

本委員会の審議内容を踏まえ、千葉市が入札及び契約制度の改善に積極的に取り組んでいることは評価できるところであり、今後も入札契約制度について、常に現状を把握し、公平性、透明性及び競争性を確保され、制度の目的が達成されているかを検証しながら、より効率的な改善に努められたい。

令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染拡大の長期化や世界的な半導体不足など、社会経済情勢が不安定な一年であった。入札状況を見ると、全体の入札不調の発生率は減少傾向にあるものの、依然として高い状況であり、特定の業種では何度も不調を繰り返す事例も見られた。技術者不足や資材価格の急激な変動など、受注者を取り巻く状況や社会経済情勢を念頭に置き、引き続き入札不調対策を促進されたい。

令和 5 年 2 月 6 日

千葉市入札適正化・苦情検討委員会

委 員 長	森	雅 彦
委 員	大 川	優 子
委 員	大 久 保	佳 織
委 員	坂 根	良 平
委 員	望 月	悦 子